

初心者でもわかる Googleアナリティクス4の 基本機能

デジタル時代の必須ツール『GA4』の機能や今後の未来をプロが解説



データを見るだけでなく

活用するためのツール

パソコンやスマートフォンの普及をはじめ、
目まぐるしくオンラインとオフラインが融合されていく現代において、
オンラインの世界というのは私たちにとって、ある種「第二の生活空間」であるといえます。

WebサイトやSNSは、お客様に価値を届ける事業主様にとっては
商品や自社の価値を伝える「バーチャルの店舗」であると言っても過言ではないのではないでしょうか。

Google Analytics とは、事業主様が「お店」を通して、
よりお客様に満足を与えるものにしていくために、指標となる情報をくれるアクセス解析ツールのことです。

具体的には、「どのような方がお店(WebサイトやSNS)に来てくださっているのか」、
「お店のどこの部分を見て帰ってしまうのか」、
「誰に好かれているのか」や「どんなところが嫌われているのか」を知ることができます。
その情報を元に、より魅力的にデザインを施したり、問題点があれば改善していったりすることによって、
より来てくださる方に満足頂ける「お店」にすることができるのです。

本誌を通して、Google Analytics4 を通してデータを見るだけでなく、
それらを活用できる方が一人でも増えることを願っております。

目次

Google Analytics4 とは

Google Analytics4 を使ってできること

Google Analytics4 に今後追加が予想される機能

Google Analytics4 とは

Google Analytics4 とは



1 Googleが提供するアクセス解析ツール

2 基本無料で使うことができる

Google Analytics4 とは



1 Googleが提供するアクセス解析ツール

Webサイトに訪れるユーザーの行動や属性を、以下のような観点で分析し、新たに価値を生み出すためのツールです。

- 訪問者数(サイトの**訪問者数**はどれくらいか)
- 流入キーワード(どんな**目的**で来たか)
- 閲覧ページ(訪問者は**どのページ**から来たのか)
- 流入元(使われた**デバイス**はスマホかPCか)
- ユーザーの属性(**誰**に見られているか)
- CVデータ(サイトの**ゴール**まで辿り着いたか)

Google Analytics4 とは



広告料 ↑↓ 広告枠

データ ↑↓ 検索

広告主

ユーザー

2 基本無料で使うことができる

Googleが無料でサービスを提供できるのは、**広告による収入があるから**です。Pixel スマートフォン、Play ストアのアプリ、YouTube の定期購入、企業向けのツールなどは有料ですが、Googleの収益の大部分は広告によるものです（Google がユーザーの個人情報を販売することはありません）。

検索、マップ、Gmail など、Googleが無料で提供するサービスの一つに Google Analytics があります。

Google Analytics4 とは

大幅にアップデートされた Google Analytics4



そんな Google Analytics は、2020年10月に大幅アップデートされました。

ユーザーのプライバシーを守るための設計になっていたり、**機械学習を活用した新たなインサイト**が出せるようになりました。

Google Analytics4 を使ってできること

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

プライバシーに配
慮した計測

BigQueryへの
データエク
ポートが可能に

Google Analytics3 が Google Analytics4になったことで、できるようになったこと、変わったことを5つ紹介します。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

プライバシーに配
慮した計測

BigQueryへの
データエク
ポートが可能に

機械学習が導入されたことで、これまでになかった以下の2つの予測ができるようになりました。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

プライバシーに配
慮した計測

BigQueryへの
データエク
ポートが可能に

- ① サイトに訪問したユーザーが今後7日間に購入に至る確率
- ② サイトに訪問したユーザーが今後7日間で離脱する確率です。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

プライバシーに配
慮した計測

BigQueryへの
データエク
ポートが可能に

ユーザーの行動を予測出来ると、広告でアプローチするなど顧客を維持するために効率的なビジネスが可能になります。また、このようにコンバージョンしそうなユーザー、離脱しそうなユーザーでオーディエンスを作成し、そのオーディエンスを元にGoogle広告でアプローチすることも可能となっています。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

**UIが大幅に
リニューアル**

計測方法が
イベント方式に

プライバシーに配
慮した計測

BigQueryへの
データエク
ポートが可能に

Googleアナリティクス4では、レポートのメニュー名が以前より多くなりました。また、「Firebase Analytics」のようなレポート画面にリニューアルされて、表やグラフのレイアウトが変わりました。「Firebase Analytics」とは、無料のアプリ測定ソリューションで、アプリの使用状況とユーザエンゲージメントについて分析できます。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

プライバシーに配
慮した計測

BigQueryへの
データエク
スポートが可能に

従来の Google Analytics ではセッションごとの計測だったため、ユーザーの行動が把握しづらく、「コンバージョンの要因」が不明確でした。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

プライバシーに配
慮した計測

BigQueryへの
データエク
スポートが可能に

Google Analytics4 では、セッションからイベントごとに計測方法が変わりました。イベント方式になったことで、ユーザーの生活スタイルや実際の購買行動に即したデータ分析と計測ができます。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

**プライバシーに配
慮した計測**

BigQueryへの
データエク
ポートが可能に

Googleは Google Signal というツールを利用して情報を収集しています。
Googleのアカウントにログインした状態で、PCを使っていれば、その検索履歴等は情報が
Googleに送られ、アクセス解析に使われます。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

**プライバシーに配
慮した計測**

BigQueryへの
データエク
ポートが可能に

しかし、2016年にFacebook社のケンブリッジ・アナリティカ事件をはじめ、ユーザーの複数のサイトでの閲覧履歴を、第三者が営利目的で使用することを疑問視する動きが世界中で見られるようになりました。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

**プライバシーに配
慮した計測**

BigQueryへの
データエク
スポートが可能に

このようにプライバシーの保護は世界中の政府や企業などが強化しているため、Google Analytics4 でもプライバシー保護に合わせた設計になりました。こうした動きから、「追跡されてもよいかは一般消費者が決めるもの」という考え方が広まりつつあります。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

**プライバシーに配
慮した計測**

BigQueryへの
データエク
ポートが可能に

実際、Googleは昨今のGDPR(一般データ保護規則)やITP(AppleがSafariに2017年に搭載したセキュリティ機能)といったプライバシーへの配慮への流れを受けてGA4を開発したとも言われています。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

計測方法が
イベント方式に

プライバシーに配
慮した計測

**BigQueryへの
データエク
ポートが可能に**

この機能は元々、標準版よりもさらに高度なデータ分析と活用をすることができるGA360(有料版Google Analytics)だけの機能でした。
それがGA4では無料でできるようになりました。

Google Analytics4 を使ってできること

機械学習による分
析と予測

UIが大幅に
リニューアル

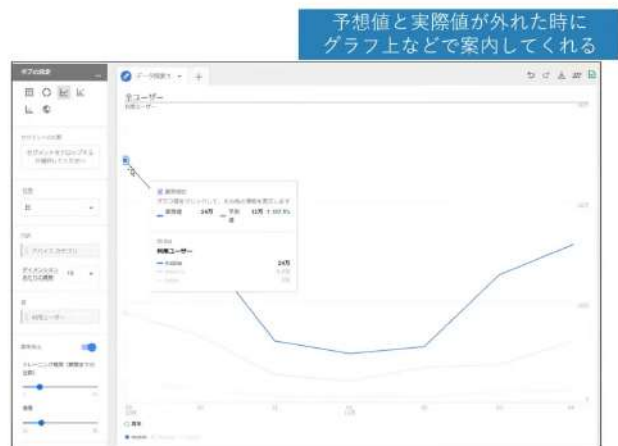
計測方法が
イベント方式に

プライバシーに配
慮した計測

**BigQueryへの
データエクス
ポートが可能に**

例えば、自社のCRMデータをBigQueryで管理している場合、SQLを使って必要なデータを取り出し、そのデータとCRMデータを組み合わせることによって従来のGoogleアナリティクスで実現できなかったインサイトを得ることができるかもしれません。

Google Analytics4 を使ってできること



おめでとうございます！1か月のユーザー数の新記録を達成しました。
2018年12月4日～2019年2月28日

お客様のウェブサイトの今月のユーザー数は319人でした。

[分析情報を表示](#)

一部非表示ユーザーが2月にサイトを再訪しました。

1月にお客様のサイトを訪れたユーザーは51人で、そのうち5人が2月にも訪れました。つまり、サイトのリピーターの割合は1.57%でした。

[分析情報を表示](#)

その他にも、アクセス数や滞在時間、コンバージョン数などに急激な変化があったこと(はずれ値)を自動で検出してお知らせしてくれる機能(左図)や、ユーザーの動きをインサイトとしてオリジナルの設定ができる機能(右図)が追加されました。

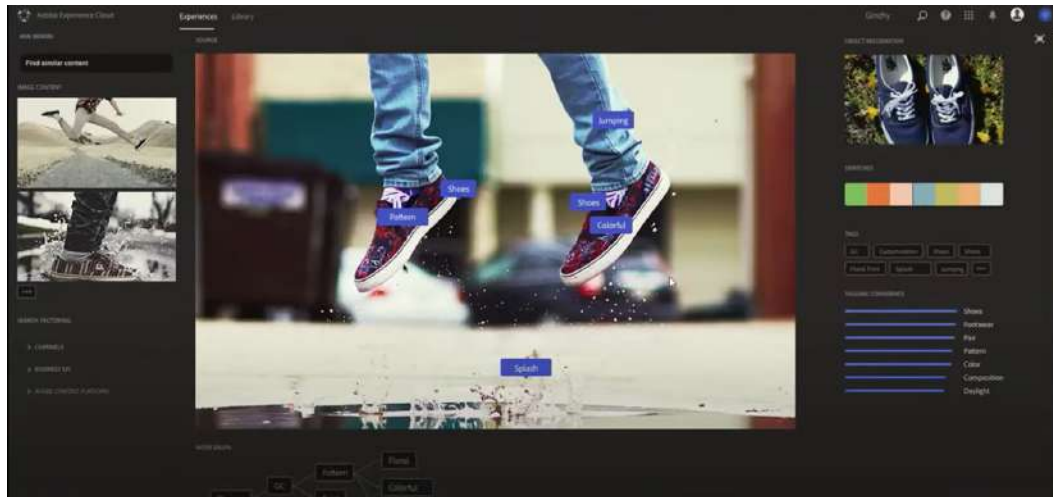
Google Analytics4 に 今後追加が予想される機能

人類がデジタル時代にシフトすることを考えると
Google Analytics4 にどんな機能が追加されると
予想できるでしょうか？

3分

Google Analytics4 に今後追加が予想される機能

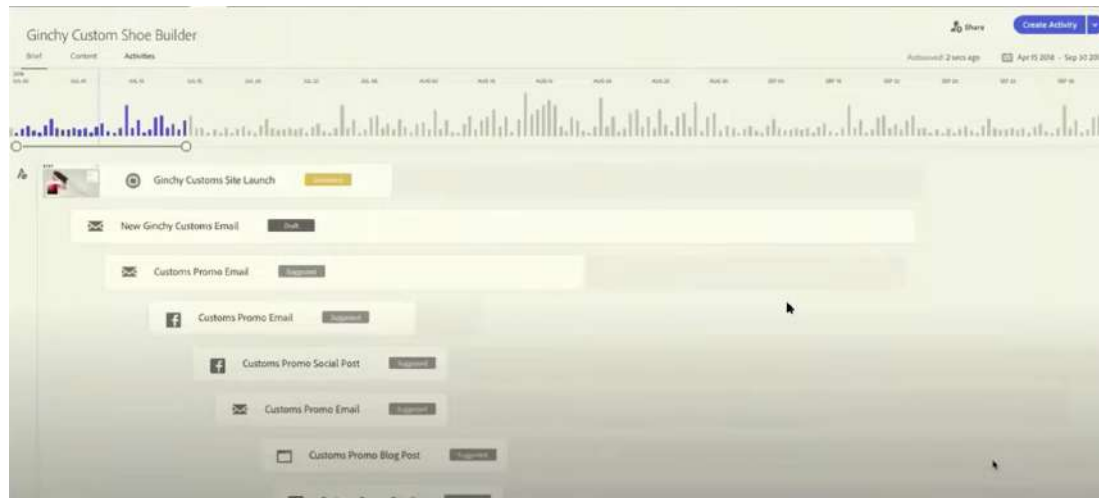
① 画像からデータを検出する機能



画像を分析してターゲット層がクリックしやすいかなどの分析情報を出してくれる機能が追加されるかもしれません。

Google Analytics4 に今後追加が予想される機能

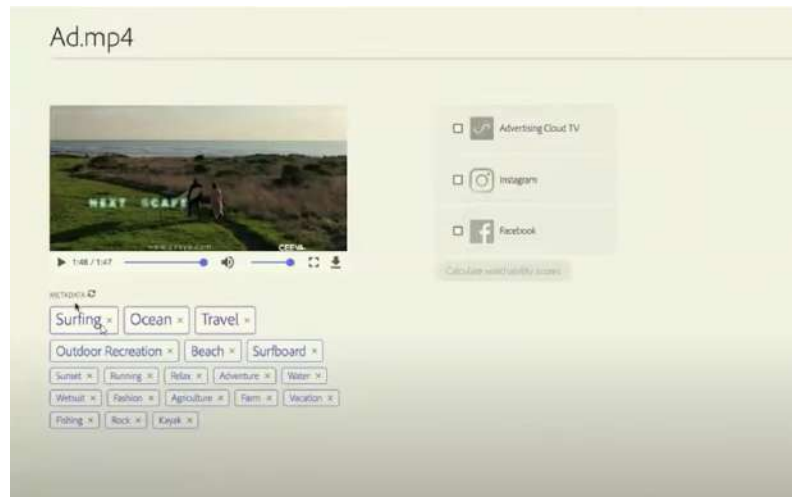
② 顧客に必要な広告だけを出せる機能



分析技術がさらに高まれば、Webで商品を守る時に、何をどのタイミングで広告を打てば良いのかをお勧めしてくれる機能が追加されるかもしれません。

Google Analytics4 に今後追加が予想される機能

③ 動画のを自動で最適化する機能



画像だけでなく動画なども、自動でクリックしやすい場所を抜き出してくれる技術があります。例えば、動画を掲載する際、『instagram』であれば、どの部分をどのくらいの時間載せるのが良いかを分析して出してくれる機能が追加されるかもしれません。

Special Thanks

小川卓『「Google アナリティクス4」で何が変わったか？』



小川 卓

株式会社HAPPY ANALYTICS
代表取締役

小川 卓

ウェブアナリストとしてリクルート、サイバーエージェント、アマゾンジャパン等で勤務後、独立。複数社の社外取締役、大学院の客員教授などを通じてウェブ解析の啓蒙・浸透に従事。株式会社HAPPY ANALYTICS代表取締役。主な著書に『ウェブ分析論』『ウェブ分析レポート講座』『マンガでわかるウェブ分析』『Webサイト分析・改善の教科書』『あなたのアクセスはいつも誰かに見られている』『「やりたいこと」からパッと引ける Google アナリティクス 分析・改善のすべてがわかる本』など。

※ この資料は2021年1月29日に開催されたオンラインイベント『DX Marketing Innovation Summit 2021』において行われた、小川卓さんによる講演『「Google アナリティクス4」で何が変わったか？』を元に制作されております。